

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1270300807		
法人名	株式会社 ニチハイ		
事業所名	グループホーム サロンドグリーン長沼原		
所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼原町161-1		
自己評価作成日	平成23年2月10日	評価結果市町村受理日	平成23年4月12日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyō.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成23年3月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

畑の広がる環境のなか、600坪の敷地に平屋で建てられたサロンドグリーン長沼原は、芝生の敷かれた広い庭と駐車場があり、開放的な施設となっています。ウッドデッキから庭や畑などへ自由に入りしてもらい外の空気を気軽に感じられるようになっているほか、家族、保育園児、ボランティアさんの来訪がわかりやすく様々な人とのふれあいを楽しめるようになっています。施設内は、全面バリアフリーとなっており十分な介助スペースが確保され安全に配慮した造りとなっています。入居者が明るく楽しく安心して生活が送れるように、職員は笑顔をたやさず心に寄り添うケアを重点におき、家庭的でほっと安らげるサービス提供に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「サロンドグリーン長沼原」は、施設の中央に芝生の庭があり、入居者が自由に庭に出入りができ、気軽に外の空気を楽しめる設計となっている。施設内の随所には入居者と職員が共同で制作した、季節に配慮した作品を掲示しており、季節感を楽しめる明るい雰囲気作りがなされている。自治会との交流・地域ボランティアの受け入れ・保育園児との世代間交流等の様々な取り組みを通じて、地域との交流を深めると共に、入居者の生活の活性化に繋げている。職員は入居者・家族を大切に考え、信頼関係の構築を図っている。また、法人の長は職員の意見・提案を確認する機会を多く設け、職員の意見を運営に反映させる体制づくりに努めている。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印		項目		取り組みの成果 該当するものに印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の		63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと	
		4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある		64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように	
		2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度	
		3. たまにある				3. たまに	
		4. ほとんどない				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が		65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない	
		4. ほとんどいない				4. 全くいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が		66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が		67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が		68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が					
		2. 利用者の2/3くらいが					
		3. 利用者の1/3くらいが					
		4. ほとんどいない					

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+Enter)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	<p>理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>常時、目の届く所に理念を掲げ、理念に基づいた支援が行えるよう職員会議で話し合い支援につなげている</p>	<p>入居者のその人らしさを守り、できる事を大切にすることを理念に掲げ、理念に基づくサービスの提供に努めている。理念を明文化し、施設の随所に掲示すると共に、会議等にて都度理念の確認を行い、職員全員で理念を共有している。また、パンフレット等に明記し、家族や外部の人々への周知も行っている。</p>	
2	(2)	<p>事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会に入会しホームのお祭りに招いたり、もちつき等の行事の参加をしている。他、近所の支援学校の文化祭への参加、パン屋さんの利用、保育園との交流、音楽Vo,個人Voの受け入れ、こども110番の登録を行い地域との色々な交流に努めている。</p>	<p>散歩や外出時に近隣住民とは挨拶を交わし、採れた野菜をいただく等、日常生活において密な関係が築かれている。特別支援学校の文化祭・餅つき大会等の地域行事に参加すると共に、施設主宰の夏祭りには地域住民に参加を呼びかける等の地域交流に努めている。また、自治会・民生員を介し、ボランティアの受け入れを積極的に行っており、施設の理解促進に繋げている。その他にも、幼稚園児や高校生の来訪もあり、世代間交流も図られている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>支援の方向性や認知症についてなど、職員会議で報告したことを運営推進会議を通じて伝えている。</p>		
4	(3)	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議で出された意見などについて、主任会議や職員会議で伝え話し合っている。</p>	<p>地域包括センター職員・民生員・家族・法人経営者・施設職員を構成員として、2ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。会議では、施設の活動報告を行い、施設の理解促進に努めている。また、意見・情報交換を行い、その際に挙がった意見・要望は職員会議等で検討し、サービスの質の向上に活かしている。</p>	

【千葉県】グループホーム サロンドグリーン 長沼原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	サービス提供にあたり、様々な内容について担当者へ随時報告や相談を行うことで協力を得ている。また、今年度は、千葉市の担当者協力のもと厚生労働省の視察受け入れを行った。	市に対しては、業務全般における相談や報告を行い、市との連携を図っている。施設長がグループホーム連絡会の役員を務めており、連絡会を通じて、市と意見・情報交換を行い、問題解決に向け関係強化に努めている。また、厚生労働省等、外部からの視察を受け入れており、施設の運営・現場の実情を伝える機会として活かしている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者が、研修を受け入職時や職員会議で身体拘束を行わないケアについて説明を行い、常にケアについての検討をしている。また、職員への研修の機会を増やしている。	身体拘束排除における施設方針やマニュアルを明文化していると共に、講習や研修へ参加しており、全職員が身体拘束排除における意義を理解している。施設の玄関は日中は施錠せず、入居者の自由な生活を支援している。入居者が外に出た場合には、声掛けや見守りにて適切な対応が図られている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者が研修を受け、職員へ伝えている他、職員も研修が受けられるように配慮している。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度の必要性については、入居時の状況や本人の状態に応じて家族と話し合いを行い制度を活用している。また、制度に関しては、家族に宛てた文章をつくり周知すると共に、職員にも話しをしている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、後々のクレームにつながらないよう十分に説明をすると共に、解約時においても本人や家族の意向に沿って手続きが行えるよう努めている。		

【千葉県】グループホーム サロンドグリーン 長沼原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	千葉市介護相談員の受け入れを行っている他、意見箱を設置している。また、日頃より意見や相談が行えるよう環境づくりに努めている。意見や要望を受けた際は、必要に応じて代表者に報告・相談を行い質の向上に努めている。	苦情相談窓口・意見箱を設置すると共に、面会時や電話連絡時に意見・要望を確認している。入居者・家族とコミュニケーションを図り、意見・要望が言い易い雰囲気作りに努めている。また、定期的に、千葉市の介護相談員が訪問し、入居者・家族の意向の把握に努めている。挙げた意見や要望は都度話し合い、適切な対応が図られていると共に、法人代表者へ報告・職員のミーティングで報告され、情報が共有できる体制が整えられている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホームは、職員全員で作り上げるものと話し、主任会議や職員会議などで意見を聞いて必要に応じて代表者へ報告・相談し、前向きに取り組んでいる。また、日々コミュニケーションづくりを大切にしている。	定期的に会議を行い、職員からの意見・提案等を確認する機会を設けている。管理者が職員とコミュニケーションを図り、個別に意見や要望を確認するよう努めている。必要に応じて、法人代表者を交えた会議を開催し、職員の意見を反映させる等、やりがいのある職場環境整備に努めている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ホームの状況を常に把握できるよう代表者と管理者は常に連絡を取り合い、検討事項や取り組み事項などについて話し合いを行い、必要に応じて職員会議などで伝え職場環境改善に努めている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	支援の質を向上するために、管理者、主任はもちろん、職員も外部研修が受けられるように配慮をしている他、ホーム内においても職員会議時に研修を行っている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が、千葉市GH連絡会の役員をしているため、日頃より他ホームとの交流を行う場面が多い。また、サービス提供の際にある様々な内容についても随時、相互で相談をすることで協力を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談を行い、本人の希望、不安を傾聴するほか家族、関係機関へも相談をして、なるべくこれまでの生活状況を把握して安心の環境のもと支援ができるように心がけている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に面談を行い、本人の生活歴、状況を確認すると共に家族の希望、不安も伺い両者が安心できる内容の支援が提供できるよう協力を得ている。また、この段階で必ずホームとして出来ること、出来ない事を伝え理解をいただいた上で話し合いをしていけるように対応している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の状況に応じて何が一番必要としているかを見極め、必要に応じて他サービス利用も含めた総合的な対応に努めている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の関わりを通じて、本人の気持ちに寄り添いながら、安心して日々生活が送れるようお互いに支え合う関係づくりを大切に支援している。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様が、日々安心して安全に穏やかな生活を送りながら役割り、生きがいを持ってよりその人らしさが保てるように、家族の協力が不可欠なため随時、日頃の様子を伝えながら一緒に考えて支援を行っている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの関係が関係が途切れないように、いつでも面会ができ、居室でゆっくりと話せるような環境や外出ができる環境を整えると共に、手紙が出せるように配慮している。	契約時に入居者・家族から生活歴等を確認しており、馴染みの関係者・地域・習慣等を把握し、要望に沿った柔軟な支援を行っている。家族との外出・外泊は自由となっており、家族との関係継続を支援している。また、職員と共同で作成した年賀状を発送しており、馴染みの人との関係継続や習慣・特技を活かした活動の支援が行われている。	

【千葉県】グループホーム サロンドグリーン 長沼原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の状態を把握して、利用者同士が良好な関係が築けて、日々一緒に活動が行えるように、職員会議で話し合いを行う他、日々のなかでお互いに「ありがとう」が言い合えるように支援を行っている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後に電話やメールで相談を頂いた事があり助言を行っている。また、ホームへ遊びに来てくれる方もあり、今後は、ボランティアとして伺いたいと希望があり快く引き受けてもいる。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活を共に行うなかで、本音や希望を個々に聞けるように支援していると共に、生活の場面からも見極めを行い常に検討しながら、ケアプランにつなげている。	契約時に入居者・家族から生活暦や意向を確認し、記録している。また、日々の生活やコミュニケーションを通して意向把握に努め、記録している。定期的に会議を開き、記録を基に入居者についての意見・情報交換をしており、常に新しい情報を全職員が共有している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族やケアマネより伺い、入居後は日々の中で本人の言葉や様子から汲み取る他、家族へも報告すると共に助言をもらい支援につなげている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各居室担当者が、入居者の状況を把握し、職員会議にて日々の生活の様子を報告し、職員会議で意見交換を行いながら情報の共有と理解に努めている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の中で個々に課題があった場合は、家族に相談を行い、必要に応じて他機関と話し合いを行い、介護計画を作成すると共に、職員にも申し送り支援を行っている。	入居者・家族の意向を踏まえ、会議にて意見・情報交換を行い、介護計画を作成している。定期的に介護計画の評価や目標の達成状況の確認を行い、必要に応じて介護計画の見直しを行っている。また、生活状況の記録や会議での意見交換を活用して、現状に即した介護計画の作成に努めている。	

【千葉県】グループホーム サロンドグリーン 長沼原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきなど、個々のケース記録や日誌に記載し共有しているほか居室担当者が、生活の様子を職員会議で報告し、支援方針を確認しながら変更を要する場合は、随時介助計画を変更している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々のニーズにあわせて、家族と相談のもと、必要に応じてボランティア申請を行っている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個別に地域資源を活用し生活を送ることは、日々のなかで難しいが、レク活動や誕生日会に希望食の機会を設けて、個々の能力に応じて選択が出来るように努めて支援している。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診Drとは、身体面の他に生活状況を含めて相談を行い医療支援を行っている。また、必要に応じては、家族とDrとホームの話し合いを行い専門医の受診も行っている。	希望のかかりつけ医への受診が可能になっていると共に、協力病院を設置しており、定期的に内科医・歯科医の往診が実施され、適切な医療支援が行われている。協力病院とは医療全般における相談・家族への説明・緊急時の対応等、協力体制が構築されている。また、24時間体制で連絡が取れるようになっており、緊急時・終末期においても適切な支援が行えるよう体制を整えている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中ですらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の支援で気づいた点などは、常に往診Drに相談を行い指示をもらっている。その他、専門医受診や入院時や個別に訪問看護を利用した場合は看護職へ相談を行い支援に結びつけている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、本人の生活の様子を報告し、入院中は、家族より状況を伺い必要に応じて面会へ行き看護職やDrから状況を伺っている。退院許可が出た場合は、家族と相談のうえ病院へ行き状況を確認し、支援へつなげている。		

【千葉県】グループホーム サロンドグリーン 長沼原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方については、個々の状況に合わせて家族と相談を行い、必要に応じてDfも交えて支援方針を検討すると共に、職員へも伝えて共有の情報のもと支援へつなげている。</p>	<p>重度化・終末期に関しては契約時に家族に説明をし、同意を得ている。終末期・重度化した場合には、状況を踏まえて協力病院や家族と話し合いを行いながら本人・家族の意向に沿った支援ができるよう体制を整えている。また、必要に応じて医療機関や他のサービスへの切り替えが円滑に行えるよう配慮している。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時に備えてマニュアルを作成し周知、対応してる。応急手当は、個々に救命講習を受講するよう研修資料を回覧したりするが、ホームにて実践をしていく機会は設けていない。</p>	/	/
35	(13)	<p>災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時のマニュアルを作成し周知している他、避難訓練時に消防立会いを求め助言をもらい職員へ伝えている。また、地域の協力が得られるように、自治会長さんと民生委員さんと話し合いを行い協力体制の確認も行った。</p>	<p>非常災害時におけるマニュアルが整備されていると共に、随時、研修も行なわれている。火災報知機・スプリンクラー等の消防機器の設置や避難経路の確保をし、非常災害時に備えている。また、年2回、消防避難訓練を実施している。運営推進会議を活用して、非常災害時には自治会・民生員等の支援が得られるよう、具体的な支援体制の整備に取り組んでいる。</p>	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	<p>一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>プライバシー保護については、マニュアルを作成すると共に、職員会議で伝えている。支援については、共同生活に留意した声かけと対応を行っておりケース記録については、イニシャルで記入している。</p>	<p>プライバシー保護のマニュアルを整備すると共に、研修・会議等にて職員に個人を尊重した接遇に努めるよう指導している。また、日々の業務の中で常時指導を行ない、プライバシーの配慮に向けた取り組みを実施している。個人情報保護に関する方針を掲げ、研修も実施されており、個人情報の取扱については細心の注意を払うよう心掛けている。</p>	

【千葉県】グループホーム サロンドグリーン 長沼原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が自分で決めて生活を送る大切さを理解した上で個々の状況に応じた声かけを行い、言葉のほか表情やしぐさより思いや希望を確認することや誕生日の希望食、自由メニューの選択など工夫した支援方法にて行っている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは決まっているが、入居者様が自分のペースでおおむね自由に生活が送れるように体調に配慮を行い出来る限り個別性のある支援に努めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみについては、日々の生活で気をつけて支援している。理美容は、本人の希望に応じて訪問理髪をお願いしている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の食事は、調理が好きな入居者様と一緒に準備、後片付けを行い同じテーブルで食事をしている。また、自由メニューや外食の機会を設けているほか畑で収穫した野菜も活用している。	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備・片付け等を職員と共同で行っている。献立においては、食品業者の管理栄養士が作成しており、栄養バランスに配慮し、個々の能力に合わせた食事提供がなされている。菜園で採れた野菜の活用や入居者の希望を取り入れる等、楽しい食卓作りに努めている。定期的には外食・手作りおやつ・自由食等の食事に関する行事を企画・実施しており、食に対する様々な楽しみを支援している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量は、個々にあわせて提供しており、栄養バランスは、管理栄養士の立てた献立に基づいて食事を提供している。水分については、チェック表を用いて1日1000ml以上を摂るように努めている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々の能力に応じて口腔ケアを個別に支援する他、義歯の方は、夜間預かり洗浄を行っている。また、必要に応じて、家族へ相談のうえ訪問歯科の利用を含めて支援している。		

【千葉県】グループホーム サロンドグリーン 長沼原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、一人ひとりの排泄パターンを理解して、声かけや誘導を行い、自立排泄を促すことにより、リハパン、パットの使用を最小限に出来るよう支援している。	排泄チェックリストを活用しながら、個々の排泄パターンを把握しており、声掛けやトイレ誘導を行い、オムツ・パットの使用をなるべく少なく出来るように支援している。また、夜間においてはトイレ誘導等を行い、排泄の自立に向けた支援がなされている。必要に応じて、医師や看護師に相談しながら適切な排泄コントロールが行なえるよう連携を図っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄、水分チェック表を活用し、水分が多く摂取出来るよう個々の嗜好に併せた飲み物を提供するほか、排便のサインを見逃さずトイレ誘導を行っている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ほとんど毎日入浴が行える体制をとっており、個々の体調を考慮して、シャワー浴や足浴も含めて支援している。また、コミュニケーションが取れる時間でもあるため、個々のペースにあわせてゆっくりと出来る時間を提供している。	入浴においては、ほとんど毎日実施しており、希望に応じて回数や時間等、柔軟に対応している。浴室には呼び出しブザーや手すり等が設置されており、浴室内は広く設計され、入居者の安全が確保されている。その他にも、必要に応じて、シャワー浴・清拭等を実施し、入居者の清潔保持に努めている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	これまでの生活習慣を大切にしているため、消灯時間を設けずおおむね自由に就寝出来るように支援をしている。また、寝具や衣類の清潔を心がけ気持ちよく就寝できる環境を整えている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬している薬の効能表は、いつでも確認が行えるようにケース記録にファイルしている。また、本人の状態変化については、往診Drに相談を行い変更については、理由と予想されることを申し送りその後の様子観察を含めて支援している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各入居者様が、日々の生活の中で喜び、楽しみ、役割りなどで必要とされていることが実感出来るように支援している。また、レク活動や外出の機会に気分転換が出来るように支援を行っている。		

【千葉県】グループホーム サロンドグリーン 長沼原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>ホームの敷地内は、屋外も自由に出入りが出来るように支援しているが、敷地外の外出については、希望時に職員が付き添って近所を散歩している。</p>	<p>入居者の希望・体調・天気に応じて、散歩を実施している。定期的に外出行事を企画・実践しており、戸外での楽しみを支援している。ウッドデッキから庭や畑への出入りが自由となっており、気軽に散歩が楽しめる造りとなっている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>原則は、ホームでお金を預かり管理しているが、本人の状況に応じては、金額を確認のうえ本人に所持してもらう場合もある。外出の際、個々のお金を持参し好きな物が購入できるように支援している。(孫へのプレゼントの購入を楽しみにされている方もいる。)</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>いつでも好きな時に電話をかける事は難しいが、本人からの希望と状況に応じては電話が出来るように支援しており、手紙は自由に出せるよう支援している。また、毎年家族へ年賀状が出せるように支援している。</p>		
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地よく日々が過ごせるようにきれいな環境をつくるように心がけている。また、廊下やフロアーには、職員と入居者様が、作った作品を季節に応じて飾っている。</p>	<p>施設内はバリアフリーとなっており、十分な介助スペースも確保され、入居者の安全確保がなされている。施設内の随所には入居者と職員が共同で制作した作品を掲示している。飾り付け等においては季節の変化に合わせ、色や形を変える等、季節感を取り入れる工夫をしていると共に、入居者と職員が作品完成に向け楽しみが共有できるように配慮されており、明るく楽しい施設作りがなされている。施設の中央には芝生の敷かれた庭が設置され、出入りが自由となっており、お茶飲み・日向ぼっこ・ガーデンパーティー等、外の空気を気軽に楽しめるようになっている。</p>	

【千葉県】グループホーム サロンドグリーン 長沼原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の状況を確認し、安全に配慮しながら、本人の意向を尊重して自由にくつろぐことが出来るように声かけを行い支援している。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのある物や愛用品を継続して使用できるように支援しているほか、本人の状況に応じて安全で安心して暮らせるように、本人と相談して家具の配置を行っている。	入居者・家族の希望に応じて、馴染みの家具や写真等、自由に持ち込む事が可能となっており、居心地の良く生活ができるよう配慮されている。また、入居者の希望により畳・絨毯を敷くことも可能で、寝具も自由に選択できるようになっており、生活暦に合せた居室造りを支援している。各居室には洗面所が設置されており、個々のプライバシーが確保されていると共に、エアコンが設置され、適切な空調管理もなされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺りが整備されており、どこの場所も広くスペースを確保している。また、台所も入居者様が使用しやすいように工夫して支援している。		